

## あなたの本棚



## 新しい本の中から

1月



『図解眠れなくなるほど面白い古代エジプトの話』 河合望/日本文芸社/242 冊  
 ピラミッドは単なる王の墓だったのか? 神に仕える「神官」はどんなことをしていた?  
 ミイラはどうやって作る? 古代エジプトの謎と魅力を、学術的な裏付けとともにわかりやすく図解する。  
 多くの人々を魅了してきた古代エジプト。そのロマンを感じてみませんか。

『ヘディ・カイルの紙折り製本』  
ヘディ・カイル/グラフィック社/022.8 冊

シンプルなジャバラ本、クラウンブック、四方開きの地図折り、パノラマブック、伸縮ピラミッド…。糸綴じなしでつくれる本とオブジェの折り方、用紙、道具を豊富な写真とイラストで丁寧に解説する。

『豊臣秀長』  
小和田哲男/早稲田大学出版部/289.1 冊

秀吉の弟にして、豊臣政権ナンバー2ともいわれる豊臣秀長。秀長の実像を最新の研究成果をもとに明らかにしつつ、たんなるナンバー2を超えた“もう一人の天下人”という、新たな秀長像を提示する。

『こども防犯BOOK』  
富川万美/祥伝社/368.6 冊

避難所での怪しい声かけ、日常のあちこちで起きている性犯罪・盗撮、SNSで狙われる自撮り写真…。小・中学生のママやパパの体験談と専門家の知見をもとに導き出した、日常と災害時の防犯術を紹介する。

『日本ご当地スーパー大全』  
菅原佳己/辰巳出版/596 冊

地元愛があふれる店、オリジナルの看板商品が人気の店、超個性派&こだわりのスーパー、朝市などイベントがおなじみの店舗…。日本全国のユニークで魅力的なスーパー92店舗を紹介する。

『戦争の美術史』  
宮下規久朗/岩波書店/702 ミヤ

戦争に対峙した芸術家は、その体験をいかに作品に投影したのか。戦争に関する古今東西の絵画や彫刻、記念碑、写真や映画を、おおむね時代順に振り返り、美術と戦争との関係について考察する。カラー図版も約150点収録。

『遊びの詩』  
谷川俊太郎 [編]/筑摩書房/908.1 文庫

ひとさじのおかしみを溶かしこんだ悪口のうた、酩酊状態の言葉たちが踊るナンセンス詩…。国民的詩人・谷川俊太郎が撰んだ、北原白秋、工藤直子、筒井康隆らによる遊びごろはじける45篇のアンソロジー詩集。

『<種>の超克』  
丹野さきら/講談社/114.2 冊

「生むこと」は「人類の存続」「社会の繁栄」「種の繁殖」といった大義の前では「当たり前に必要なこと」なのか? その「当たり前」を問い合わせし、マルクスに立ち返りながら、フォイエルバッハや田辺元の思想を再検討する。

『日本遠国紀行』  
道民の人/笠間書院/291 冊

北海道の廃墟に見る街の盛衰、秋田の人形道祖神、東北の冥婚、最後のイタコ、長崎の隠れキリシタン伝承…。著者が長年取り組んできた取材内容と撮影写真をもとに、産業の衰退、消えゆく民俗・風習・風土を伝える見聞録。

『日本人と植物』  
船山信次/原書房/470.2 冊

農耕、祭礼、文学、医療など、日本人はあらゆる場面で植物と深く関わってきた。万葉集や遣唐使の記録、江戸の園芸文化や幕末のプラントハンター、近代科学等の発展をたどりながら、日本人と植物の「絆」を描き出す。

『教養としてのお菓子』  
宮本二美代/Gakken/596.6 ミヤ

喜ばれるお菓子の基本、シーン別お菓子のセレクト術、世界と日本のお菓子の歴史と文化…。お菓子を通して、印象力・信頼力・人間力を高めるためのヒントを、実例やエピソードを交えて紹介する。お菓子の科学的活用法も伝える。

『希望の名画』  
中野京子/文藝春秋/723 冊

ダメ夫と娘に悩まされ続けたヴィジェ=ルブラン、クリスマスも働いて幸運をつかんだミュシャ、弟嫁の献身のおかげで世に出たゴッホ…。名画に込められた「人間讃歌」の物語を紐解く。『文藝春秋』連載を加筆し新書化。

『ちゃぶ台ぐるぐる』  
群ようこ/集英社/914.6 ミヤ

家族の誰かが風邪をひくと母が作ってくれた小田巻蒸し、中学の部活帰りに友達と食べたラーメン…。「かもめ食堂」などで食事のシーンを鮮やかに綴る群ようこの食にまつわるエッセイ集。『よみタイ』連載を加筆修正し書籍化。

『「面白い!」を見つける』  
林雄司/筑摩書房/141.5 ハヤ

意外さを観察し、型をずらして、面白がある。自由な発想の持ち主は世界をこう見ている! WEBメディア『デイリーポータルZ』編集長が、「だったらいいな」を現実にするやり方を伝える。

『江戸の刑事司法』  
和仁かや/筑摩書房/322.1 ハニ

物の怪憑きに責任能力はあるの? 放火と失火ではどのくらい罪の重さが違う? 江戸幕府の役人たちの議論を記録した「御仕置例類集」から5つの事件を取り上げ、それらを題材に江戸時代の法的思考を解き明かす。

『棺桶まで歩こう』  
萬田緑平/幻冬舎/490.1 マン

2000人以上を看取った「在宅」緩和ケア医が、「歩けるうちは、人は死がない」という考え方のもと、満足できる人生の終え方を提唱。命の最後に何が本当に必要かを、現場から問い合わせる。

『馬のこころ』  
瀧本彩加/岩波書店/645.2 ハニ

馬は顔や音声で多彩な感情を表現し、相手の些細な表情や声色の変化も見逃さない。馬どうしはもとより、人とも絆を築けるのはなぜか。馬のコミュニケーション能力に焦点を当て、その新たな魅力を紹介する。

『読む技法』  
伊藤氏貴/中央公論新社/817.5 ト

より深い読解力を身につけるための実践的な入門書。解釈学、構造主義、ナラトロジーなど多様な「読む技法」を紹介するとともに、詩、小説、評論、法律など幅広いテキストを題材に、技法を応用して読み解く。

『サインポール』  
大谷美和子/文研出版/F 材 青少年

両親の離婚と突然のコロナ禍で、夏休みを祖父母の家で暮らすことになった直美と弟の翔太。直美は理容室を営む祖父母との日常を通して、父の来し方や母の生き方に思いを深め、自分を見つめ直し…。

## 『できるWindows 11』

法林岳之/インプレス/007.6 冊 パソコン WIN

Windows 11を快適に使いこなせるよう、基本から一步先を行く機能まで紹介。Copilot対応。

## 『世界のはじまりの神話学』

松村一男/KADOKAWA/164 マツ

世界はどのようにはじまったのか。人類は、原初の疑問や経験を、神話として語り継いできた。日本、ギリシア、北欧、インド、エジプト、中国、アメリカ、メキシコ…世界の神話を読み比べ、神話にまつわる基礎知識も解説する。

## 『太平洋戦争と銀行』

小野圭司/講談社/338.2 オ

満洲や台湾、朝鮮や樺太、そして本土を、銀行員たちは決死の覚悟で駆けめぐっていた! 植民地経営から戦費調達、敗戦後の「清算」まで、銀行員たちが奮闘した、知られざる「戦争の舞台裏」を明かす。

## 『いつでも着たいはおりもの』

月居良子/文化学園文化出版局/593.3 ワキ

リネンのダッフルコート、リバーシブルのボレロ、ショート丈のパーカ、フリースのポンチョ…。ソーイング初心者にも簡単に作れる、一年中着たいはおりものを27作品紹介します。

## 『琵琶鱈と暮らした日々』

田中秀具/文芸社/666.6 外 大津 2階

琵琶湖固有の鱈、ビワマスは、極めて美味しい食材であり、重要な水産資源でもある。滋賀県の水産職員だった著者が、養鱈場で養殖用ビワマスを創る研究を始めから、それが実用化に辿り着くまでを記す。

## 『英語の習得法』

最所フミ/筑摩書房/830.7 サイ 文庫

「英語類義語活用辞典」などの編著者であり、「英語力に練達の人」として名高い最所フミ。英語と日本語の違い、効果的な「読み」、「書く」ための心構え、英会話と音読といったテーマを通し、英語習得の秘訣を紹介する。

## 『新しい花が咲く』

宮部みゆき/新潮社/F ミヤ 文庫

寿退社後に婚約破棄されたアツコがバスの終点で見たもの。学級閉鎖で留守番中のアタルが巻き込まれた不思議な事件。事故で兄を亡くした妹が、偶然出会った中学生。俳句から着想を得て生まれた、心搖さぶる12の物語。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。

また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

※メールアドレスを変更された場合はご自身でホームページより変更手続きをお願いします。



スマホ用ホームページ